

私の仕えるお方は
良家の御息女だ

今日も一日
お疲れ様

いつも大人びた
美しい佇まいで
つい見惚れてしまう



かしこまりました
お嬢様！

普段から私にも
優しい憧れのお方…

そんなお嬢様のご要望に全て
お応えすることが私の勤め



はいっ
ありがとうございます！

仕事が片付いたら
私の部屋に来てくれる…？



ん...

...それが例え
いけないことでも

お嬢様

いかがですか?

ふふ

やっぱりあなたに
こうしてもらおうの

好き...

恐れ多いけど
お嬢様にお喜び
いただけるなら

うう...

よろしいのですか...?

うん...

あなたの
好きなように...

だけど



ねえ…はやく…

我慢できない…



いけないと
分かっていても

あっ…



んん…

私を求めてくれる
お姿が可愛すぎて

どんどん独占欲を
抑えられなく
なってしまう…



んん…



もう
お嬢様はほしがりさん
なんですから…

お嬢様……

もう遠慮は
できないです……

うん

いっぱい
あなたを頂戴……？

ゆる

ちゅう……

んん……

ああ……

お嬢様……
今だけは私のものです

いっぱい独り占め
させてください……



はい…
お嬢様

足りないよ…
もっと
めちゃくちゃにして

んん…

あ…

あ…
んん

ちゅ…
ちゅ…

私もまだまだ
足りないです…

もっと…

お嬢様の全てを
感じさせてください…









